

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

第3回委員会 開催日：9月12日。出席者：津谷委員長，ほか15名。

1. 石原，浅田研究助成金交付者の審議
2. 新委員会設置方針について
 - (1) 熱延プロセス冶金委員会(仮称)趣意書について
 - (2) 新委員会の設置基準について
 - (3) 調査研究委員会について

編集委員会

第7回和文会誌分科会 開催日：10月8日。出席者：加藤主査，ほか21名。

1. 23件の論文審査報告がなされ，掲載決定12件，照会后掲載可3件，その他8件であった。
2. 「鉄と鋼」第69年第2号(2月号)に論文14件技術報告1件掲載決定した。

第7回欧文会誌分科会 開催日：10月15日。出席者：大森主査，ほか12名。

1. 22件の論文につき審査報告がなされ，掲載可4件照会后掲載可7件，修正依頼8件，一旦返却3件であった。
2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，1件の研究論文及び1件の Technical Report を勧誘することとなった。

共同研究会

条鋼部会

第36回大形分科会 開催日：10月14日。出席者：久恒主査直属幹事，ほか64名。

1. テーマ研究の発表
「ロール原単位の実態と低減対策について」
2. 自由研究の発表
 - (1) 「精整ラインを中心としたH形工場の自動化について」新日鉄・室蘭
 - (2) 「分塊・大形間直送圧延における材料間厚み制御について」新日鉄・広畑
3. 工場見学 新日鉄・室蘭 大形工場，棒鋼工場

鋼管部会

第31回継目無鋼管分科会 開催日：9月9～10日。出席者：望月主査，ほか第1日61名，第2日45名。

- 開催地：住金・大阪
1. マネスマン関係(第1日)
 - (1) ネジ切り技術について(共通議題)
 - (2) 圧延における休止時間の解析(共通議題)
 2. 熱押・冷牽関係(第2日)
 - (1) 熱間押出材の精整処理の実態調査(共通議題)
 - (2) 冷間加工材の精整処理(共通議題)
 3. その他
 - (1) 工場操業状況報告 (2) 次回議題検討

第31回溶接鋼管分科会 開催日：9月2～3日。出席者：河野主査，ほか第1日66名，第2日55名。開催地：東京学士会館

1. 電弧溶接鋼管関係(第1日)
 - (1) 二次加工品仕様別作業方法と能率について(スパイラル)
 - (2) 組替時間及び物流について(ストレートシーム)
2. 電縫・鍛接鋼管関係(第2日)
 - (1) 精整工程における切断・切削について(電縫管)
 - (2) 電縫管パネルディスカッション
「高靱性ラインパイプの製造技術」
 - (3) 鍛接管工場の精整・検査設備について
<RHSから結束機まで>(鍛接管)
3. その他 (1) 工場操業状況 (2) 次回議題

標準化委員会

第57回SC1分科会・第15回SC1諮問分科会 開催日：9月10日。出席者：川村主査，ほか8名。

1. SC1分科会関係
 - (1) 新配布資料の検討
 - (a) WG8 (V-電位差滴定法)
 - (b) WG9 (V-原子吸光法)
 - (c) WG10 (C-HFIR 法)
 - (d) ISO/R377 第3次改訂案 Part II についての検討
 - (e) SC1 新検討項目の投票について
2. SC1 諮問分科会関係
 - (1) コメント処理
 - (a) ISO2732 (P-光度法)
 - (b) DP4936 (Cr-光度法)
 - (2) AI-AAS 法日本案
 - (3) WG7 (V-光度法) の Convener
 - (4) WG で使用する共同実施試料について

高温強度研究委員会

第2回高温脆化分科会 開催日：10月12日，出席者：田村(兼)主査，ほか19名。

1. 講演
「高温脆化機構について」
宇宙科学研究所 教授 堀内 良殿
「低合金鋼のクリープ延性低下に関する2,3の事例」
日本製鋼所材料研究所 石黒 徹殿
 2. 今後の運営について
企業で役に立つ共通的な問題を取り上げ，もう少し事例について勉強することが了承され，主査から参加各社に割り当てることとなった。
- 第19回高温熱疲労試験分科会** 開催日：9月22日，出席者：雑賀主査，ほか17名。
1. 「Alloy 800 の材料強度特性」(内部資料)の印刷

完了と有償配付の申し込み状況についてその現状が報告された。

2. NCF800H 合金の高温疲労に関する一実験結果について(講演) 金材技研金沢委員から資料をもとに試験結果が報告された。

3. 共同研究方案(案)について

高温熱疲労試験共同研究に関するアンケート回答集計をもとに幹事側でまとめた実験内容(案)をもとに審議が行われた。供試材および試験分担について委員の意見を求められできるだけ多くの参加が得られるよう改めることが了承された。

その他に、参考として溶接学会および材料学会における低サイクル疲労試験方法(案)が配付された。

材料研究委員会

第 47 回委員会 開催日: 10月14日. 出席者: 大橋委員長, ほか 13 名 開催地: 三菱製鋼

1. 工場見学 ばね(板及び巻)工場の見学

2. 研究発表

(1) Fe-Ni-Mn 合金の時効硬化に及ぼす Mo の影響

(2) SAE9254 鋼のばね特性について

(3) The Effect of Aluminum Content on the Mechanical and Metallurgical Properties of 18Mn 5Cr Rings

(4) 大入熱溶接低温用鋼の継手靱性改善の基本検討

ISO/TC17 事務局運営委員会

第 11 回委員会 開催日: 9月1日. 出席者: 石原委員長, ほか 14 名.

下記事項について報告・審議が行われた。

1. 専門諮問部会活動報告 TC17 東京総会を控え本年は 2, 4, 7 月に開催され状況が青木委員より報告された。

2. TC17 組織委員会報告 堀川委員(組織委員長)より, 過去 3 回の同委員会の開催により東京総会の準備がほぼ整った旨報告があり, 次いで丸岡委員(実行委員長)より実行予算詳細を含めて総会実行計画詳細が報告された。

3. 上期予算実行中間報告 事務局より予算実行状況につきほぼ予定どおりで問題ない旨報告され承認された。

4. ISO 関係事務局組織について 協会内で別組織としている TC17 と SCI 事務局につき予算面(分担金, 補助金面), 事務局員ローテーション等につき問題提起があり次回運営委で討議することとなった。

鉄鋼基礎共同研究会

第 1 回鉄鋼の環境強度部会 開催日: 10月15日. 出席者: 駒井部会長, ほか 23 名 開催地: 協会会議室, 経団連「穂高の間」

1. 部会長挨拶

2. 海洋環境下の鉄鋼の環境強度試験条件に関するアンケート収集結果報告

3. 海洋環境下の鉄鋼の環境強度試験の実施状況アンケート収集結果の報告

4. 共通試験条件の検討

5. 今後 1 年間の活動スケジュール

(1) 部会年 4 回(東京 2 回, 新居浜 1 回, 仙台 1 回)

(2) 幹事会年回 2 (東京)

(N194 ページよりつづく)

林 清 造	藤 卷 正 憲	渡 辺 薫	外国会員	(昭和 57 年 7 月)	Aparecida S/A
馬 場 利 治	松 島 順	死亡退会	(昭和 57 年 6 月)	入 会	退 会
樋 口 允 宏	山 中 昇	御冥福をお祈り申	入 会	Young Gil Kim	徐 錫 亮
福 留 富 治	山 家 進	上げます。	Rau Mann-Fu	B. J. Drakalijski	
福 留 信 夫	吉 野 宗 光	中 山 友 秀		Siderurgica N. S.	